

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与した。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与した。

参加・体験事業
<p>(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 決算額 713,920円)</p> <p>子どものための文芸コンクール「書こう!きみの物語」 小中学生を対象に小説や児童文学などの文芸作品を公募し、入賞作品を名古屋を中心に活動する劇団員による朗読音声をつけてウェブサイトで公開した。</p> <p>作品募集期間/2022年7月15日(金)~9月15日(木) 選考/奥山景布子、棚園正一、藤真知子 応募件数/74件 入賞作品/15作品 朗読/劇座、劇団あおきりみかん始め名古屋で活動する劇団の俳優15人</p>
<p>(2) 学生参加事業 (補助金事業 決算額 2,544,381円)</p> <p>NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2022 学生の文化芸術活動を応援するため、地元で活動する中高生ビッグバンドが多数出演する、ジャズを中心とした音楽イベントを開催した。(客席数半数で実施)</p> <p>日程/2022年8月6日(土)、7日(日)〈4部構成〉 会場/芸術創造センター 出演バンド数/名古屋市立若葉中学校始め9組207人 ※出演者に新型コロナウイルス陽性者が発生したため2組が出演辞退 ゲスト出演/Lady Honkerz、Calmera 入場者数/885人(入場者好評価率/93.8%)</p>
<p>(3) 子どもアートピア (補助金事業 決算額 7,775,150円)</p> <p>子ども向け・名古屋の魅力向上をテーマに令和3年度より3か年計画で実施。愛知芸術文化協会(ANET)との共催で、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップなど、子どもたちが参加・体験できる全17プログラムを行った。</p> <p>日程/2022年12月17日(土)~18日(日) 会場/ナディアパーク、青少年文化センター 共催/愛知芸術文化協会(ANET)</p> <p>1 舞台公演(客席数70%で実施) バレエ「シンデレラ」〈2回〉 会場/青少年文化センター 入場者数/980人(入場者好評価率/92.4%) 出演/岡田純奈バレエ団</p> <p>2 ワークショップ 絵画教室「サンタさんがやってきた!」始め8プログラム〈8回〉 会場/青少年文化センター 第1~3練習室、第1スタジオ 参加者数/101人(参加者好評価率/89.3%)</p> <p>3 パフォーマンスステージ 「箏曲コンサート」始め8プログラム〈8回〉 会場/ナディアパーク アトリウム 入場者数/1,263人(入場者好評価率/91.5%) 〈全17プログラム〉入場者数計/2,344人(入場者好評価率/91.1%)</p>

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 〈実行委員会形式〉 (負担金事業 決算額 8,989,140円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場（文化小劇場など）で開催した。

[上期] (客席数半数で実施)

- 1 名古屋フィルハーモニー交響楽団「名フィルがやってきた」
日程／2022年8月3日(水)～4日(木)〈4回〉 会場／中川文化小劇場、南文化小劇場
入場者数／711人(入場者好評価率97.1%)
- 2 狂言共同社「狂言がやってきた！」
日程／2022年8月4日(木)、10日(水)〈4回〉 会場／名東文化小劇場、北文化小劇場
入場者数／259人(入場者好評価率83.6%)
- 3 川口節子バレエ団「ピーターパン」
日程／2022年8月5日(金)、24日(水)、27日(土)、31日(水)〈9回〉 ※1回は追加公演
会場／天白文化小劇場、緑文化小劇場、青少年文化センター、東文化小劇場
入場者数／2,107人(入場者好評価率100%)
- 4 人形劇団パン「ジャックと豆の木」
日程／2022年8月10日(水)、25日(木)〈4回〉 会場／港文化小劇場、昭和 cultura 小劇場
入場者数／562人(入場者好評価率98.0%)

[下期] (客席数100%で実施)

- 5 演劇人冒険舎「ショウター一緒にサッカーやろうよ」
日程／2023年3月26日(日)、29日(水)〈4回〉 会場／瑞穂文化小劇場、守山生涯学習センター
入場者数／447人(入場者好評価率87.5%)
- 6 セントラル愛知交響楽団「ハローオーケストラ」
日程／2023年3月29日(水)～30日(木)〈4回〉 会場／西文化小劇場、熱田文化小劇場
入場者数／1,252人(入場者好評価率97.3%)
- 7 プレジャー企画「コメディークラウン・サーカス」
日程／2023年3月30日(木)～31日(金)〈4回〉 会場／中村文化小劇場、千種文化小劇場
入場者数／866人(入場者好評価率99.4%)

〈全16区33公演〉入場者数計／6,204人(入場者好評価率／94.7%)

(2) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 決算額 9,225,249円)

大中規模ホールを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催した。(客席数70%で実施)

- 1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会
日程／2022年5月24日(火)〈1回〉 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
入場者数／733人(入場者好評価率83.7%)
- 2 人形浄瑠璃「文楽」
日程／2022年10月7日(金)〈2回〉 会場／芸術創造センター
入場者数／838人(入場者好評価率90.4%)
- 3 山縣美季コンサート
日程／2022年11月29日(火)〈1回〉 会場／熱田文化小劇場
入場者数／102人(入場者好評価率98%)

(3) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 決算額 1,329,151円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供した。

第1回	2022年7月～2022年9月	応募枚数	4,799枚	当選枚数	1,151枚	提供枚数	940枚
第2回	2022年11月～2023年1月	応募枚数	3,271枚	当選枚数	602枚	提供枚数	545枚
第3回	2023年2月～2023年3月	応募枚数	4,193枚	当選枚数	565枚	提供枚数	464枚
		計	12,263枚		2,318枚		1,949枚

友の会事業（自主財源事業 決算額 8,784,548円）

会員向けの落語会を行うとともに、催し物情報等を掲載した情報紙「友の会だより」を発行した。

- 1 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引
- 2 会員への情報提供事業
市内文化情報やイベント情報を毎月送付
- 3 会員を対象とする文化事業（客席数70%で実施）
 - ①古謝美佐子コンサート～沖縄のこころのうた～
日程／2022年7月2日(土) 会場／中川文化小劇場
入場者数／257人(入場者好評価率／94.7%)
 - ②春風亭小朝新春独演会
日程／2023年1月19日(木) 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
入場者数／670人(入場者好評価率／94.9%)

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与した。

(1) 総合舞台芸術公演（補助金事業 決算額 33,053,626円）

名古屋市文化振興事業団2023年企画公演 ミュージカル「パジャマゲーム」

1954年の初演でトニー賞最優秀作品賞、2006年にはトニー賞リバイバル作品賞に輝いたブロードウェイの名作ミュージカル「パジャマゲーム」を制作・上演した。（客席数80%で実施）

日程／2023年2月17日(金)～19日(日)〈5回〉

会場／青少年文化センター

脚本／ジョージ・アボット、リチャード・ビッセル 作曲／リチャード・アドラー、ジュリー・ロス

上演台本・訳詞・演出：中原和樹、音楽監督・指揮：角田鋼亮、振付／杉田裕美

管弦楽／セントラル愛知交響楽団 オーディション応募者数／143人 出演者数／39人

入場者数／2,164人(入場者好評価率／91.7%)

〈関連事業〉

- ①企画公演のあゆみ「ポスター・写真展」
会期／2023年1月10日(火)～15日(日) 会場／市民ギャラリー栄
入場者数／162人(入場者好評価率／69.2%)
- ②出演者による福祉施設への出張コンサート
・特別養護老人ホーム瀬古の家
日程／2023年1月31日(火) 入場者数／35人
※障害者支援施設よつ葉の家に同時配信(鑑賞者数／53人)
・ティンクルなごや(収録動画の提供)
日程／2023年2月 鑑賞者数／75人
- ③本番直前オープンステージ
日程／2023年2月15日(水) 会場／青少年文化センター
入場者数／138人(入場者好評価率84.3%)

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2023

(補助金事業 決算額 2,527,482円)

企画者・美術家からアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て斬新な美術展を開催した。

- 1 美術展 (応募18件から3企画を採択)
日程/2023年1月6日(金)~15日(日) 会場/市民ギャラリー矢田
企画/第1展示室「海と時のニーモニック」高島マキコ
第2~3展示室「共生新世へむけて」澤田奈々
第4~7展示室「TOUCH THE SKY.」中矢篤志
入場者数/1,788人 (入場者好評価率/89.3%)
- 2 次年度企画募集
応募件数/10件 採択件数/3件

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 決算額 2,898,523円)

Special Dancers' Gifts「親愛なるMother Earth」

SDGsを通じて目指す「豊かで活力ある未来を創る」をテーマに、現代舞踊協会中部支部との協働による舞踊公演を開催した。(客席数70%で実施)

日程/2023年1月28日(土)~29日(日)〈4回〉 会場/千種文化小劇場
振付/石川雅実、石原弘恵・荻谷夏、こかちちかこ、夜久ゆかり
出演/現代舞踊協会中部支部所属の現代舞踊家35人
入場者数/677人 (入場者好評価率/96.9%)

(4) 名古屋市民芸術祭2022 (補助金事業 決算額 4,870,930円)

総合的な芸術の祭典として、2022年10月~11月に名古屋市民芸術祭2022を開催した。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2022

日程/2022年10月25日(火)~30日(日) 会場/市民ギャラリー栄
入場者数/6,320人 出品者数/240人

②名古屋市民美術展

日程/2022年11月22日(火)~27日(日) 会場/市民ギャラリー栄
入場者数/2,097人 出品者数/159人

入場者数計/8,417人 (入場者好評価率/83.9%)

2 参加事業

参加公演 20公演 ※申込件数37件

受賞公演 市民芸術祭賞 2公演

[音楽] 近野賢一 バリトンリサイタル ~冬の旅~

[伝統芸能] 竹本知子 箏リサイタル2022

市民芸術祭特別賞 3公演

[音楽] 奨励賞/高木俊彰チェロリサイタル

[演劇] チャレンジ賞/16号室 唯我独尊「THE BEE」

[舞踊] メモリアル賞/40周年記念テアトル・ド・バレエ カンパニー

メモリアル公演深川秀夫版「ドン・キホーテ」全幕

※演劇部門の1公演は、公演関係者から新型コロナウイルス陽性者が発生したことにより一部公演が中止となったため、審査対象外とした。

入場者数計/5,817人

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 決算額 20,682,011円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」(2022年10月15日(土)～11月13日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台」の3公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「芸どころまちなか披露」、さらに当事業の10周年を記念して拡充した「10周年記念事業」を実施した。

1 芸どころ名古屋舞台 (客席数70%で実施)

①能「忠度」 狂言「井戸茶碗」

日程／2022年11月3日(木・祝)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂 入場者数／351人

事前講座「茶席の道具で能楽を楽しもう」 会場／名古屋能楽堂会議室 入場者数／86人

②語りで紡ぐ茶のココロ

日程／2022年11月6日(日)〈1回〉 会場／西文化小劇場 入場者数／224人

出演／祖父江佳乃、旭堂鱗林、春野恵子、柳家緑太、古今亭文菊

③弦楽の調べ「和洋でめぐる御当地縁起」

日程／2022年11月12日(土)〈1回〉 会場／青少年文化センター 入場者数／276人

出演／箏曲正絃社、セントラル愛知交響楽団 他

2 芸どころまちなか披露

①辻狂言、ストリート歌舞伎、都々逸、茶の湯レボリューション、スペシャルステージ 他

日程／2022年10月22日(土)～11月13日(日)〈21回〉 入場者数／4,422人

会場／アスナル金山、イオンモール熱田、愛知学院大学キャンパス、ナディアパーク

②お座敷ライブ

日程／2022年10月23日(日)、29日(土)、11月3日(木・祝)〈3回〉 入場者数／118人

会場／志ら玉、香楽、か茂免

3 10周年記念事業

①10周年記念プレイベント

日程／2022年10月15日(土)、16日(土)〈2回〉 入場者数／2,640人

会場／公会堂正面玄関 出演／めいおん長唄三味線ガールズ、蟹江尾八会 他

②10周年記念フラッシュモブ企画

日程／2022年10月22日(土)～11月13日(日)〈4回〉 入場者数／1,345人

会場／アスナル金山、イオンモール熱田、愛知学院大学キャンパス、ナディアパーク

監修／香川絢子

入場者数計／9,462人 (入場者好評価率94.5%)

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 決算額 1,406,057円)

ライセンスを持つパフォーマーが、地下鉄駅や商業施設などの登録会場でパフォーマンスを行う事業。コロナ禍によって令和2年度より休止していたが、ガイドラインを作成し、試行実施を経て、5月より提供可能な会場から随時再開した。

新規ライセンス発行

一次審査(書類、映像・音源審査) 2022年7月11日(月) 応募50組から13組を選考

二次審査(公開オーディション) 2022年8月12日(金)～13日(土) 13組から10組を選考

認定パフォーマー数／156組(146組は前年度から無条件で更新)

登録会場／オアシス21、名古屋城、地下鉄今池駅など市内20施設

実施回数(累計)／436回

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 決算額 2,458,885円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出した。
受託件数/名古屋城夜間特別公演はじめ6件

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムの運営、各種事業の案内など、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを事業団本部内で運営した。
販売枚数/36,138枚

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドで運営した。
相談件数/283件

(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞 (自主財源事業 決算額 772,868円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後も活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第38回芸術創造賞を授与した。

受賞者/石場文子<美術(現代美術)>、松村一葉<舞踊(バレエ)>
授賞式/2022年8月10日(水) 青少年文化センター7th Café

(9) Nagoya チラシデザイン大賞 (自主財源事業 決算額 324,342円)

市内で開催される公演や美術展の広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示した。

募集期間/2022年6月~2023年1月

応募件数/109件

受賞作品/大賞: 杉浦哲平

入賞: 高島マキコ、渡辺有史、佐和ぐりこ/ヨコヤマ茂未

佳作: 大久保勝信、平井秀和、BiNGO

作品展示/2023年3月14日(火)~19日(日) 会場/市民ギャラリー矢田 第7展示室

入場者数/195人(入場者好評価率88.1%)

2023年3月23日(木)~ 会場/文化情報ひろば(ナディアパーク7階)

(10) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 決算額 424,594円)

名古屋女性演劇賞の授与

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった女性演劇関係者に名古屋女性演劇賞を授与した。

受賞者/川村ミチル<俳優・劇作家・演出家>

授賞式/2023年3月14日(火) 青少年文化センター7th Café

(11) 文化芸術関係者・団体活動支援事業（自主財源事業 決算額 4,073,066円）

1 オリジナルミュージカル「きみのあした」の創作

令和2年度に制作したオリジナル応援ソング「きみのあした」をテーマに、オリジナルミュージカルを創作。令和4年度は、上演台本の執筆及びミュージカルナンバーの作曲を行い、事業団設立40周年を迎える令和5年度の上演に向けた準備を進めた。若手アーティストをはじめ、多くの市民が参加できるミュージカルを、事業団が一から創り上げた財産として長く活用するために創作した。

上演台本・演出／落石明憲 作曲／藤田麻衣子（「きみのあした」作詞・作曲・歌唱）

2 公募短編小説ウェブサイト発信事業「NAGOYA ヴォイシーノベルズ・キャビネット」

令和2年度に開設した専用ウェブサイトを引き続き運用し、公募した短編小説や、著名な文学作品を配信した。作品には朗読による音声をつけ、視覚障がい者の方、聴覚障がい者の方など市民誰もが楽しめるコンテンツとして提供した。

新規作品数／「蜘蛛の糸」「注文の多い料理店」など名作24件（ウェブサイト掲載累計224件）

朗読／名古屋地域で活動する俳優46人 演出／名古屋地域で活動する演出家11人

視聴回数／23,695回

※1作品を英語、中国語、ベトナム語に翻訳して本文を掲載した。

(12) 事業団アートマネージャー・ステップアップ事業（自主財源事業 決算額 1,758,771円）

劇場って楽しい!! 2023 in 名古屋市緑文化小劇場 安賜勳Johannesと愉快的オーケストラコンサート

事業団アートマネージャーが部署を越えて文化芸術イベントを企画制作する事業。今回は、知的・発達障がい児に、音の大きさや響き、演出効果による照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを、鑑賞しながら学び「劇場」を体験してもらうコンサートを開催した。（客席を広く使用するため、上限200人で募集）

関連企画として、職員が「鑑賞支援コーディネーター育成講座」を受講し、障がい者の現状やアテンド方法の実務を学んだ。

日程／2023年1月14日（土）〈1回〉 会場／緑文化小劇場

入場者数／182人（入場者好評価率／96.4%） 育成講座受講者数／23人

(13) 文芸による名古屋の魅力推進事業〈実行委員会形式〉（負担金事業 決算額 999,535円）

コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編文芸作品を広く募集し、優秀作品に賞を授与するとともにウェブサイトで公開した。あわせて、入賞作品の発表・授賞式と選考委員による入選20作品の公開講演トークショー「コトノハなごやサロン」を開催した。

作品募集期間／2022年7月12日（火）～9月15日（木）

応募件数／285件

一次選考／愛知淑徳大学の学生により入選20作品を選考

最終選考／入選作品から金賞1件、銀賞2件、佳作2件の計5件の入賞作品を選考

選考委員…中村航、太田忠司、中村陽子

入賞作品／金賞：加藤大樹「約束」

銀賞：ジャッキー「いつまでも幸せに暮らしましたとき」、高瀬奈々「恋文」

佳作：いもてん「最後に、あなたへ」、田中へいた「ばれんように」

コトノハなごやサロン

日程／2023年1月9日（月・祝） 鑑賞者数（YouTube視聴者含む）／234人

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図った。

(1) 文化情報誌の発行 (補助金事業 決算額 2,221,156円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供した。

発行部数/1回につき8,000部 発行回数/4回(季刊) 発行部数計/32,000部

(2) 文化情報ひろばの運営 (補助金事業 決算額 6,943,971円)

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営した。

チラシ配架数/3,091件

図書数/ダンスマガジンはじめ約3,000冊

4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を活かした文化事業を行った。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館(中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和)、名古屋市民ギャラリー2館(栄・矢田)、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行った。

※守山文化小劇場は2022年4月1日から2023年3月31日まで天井脱落対策工事のため休館。

(2) 施設事業

上記の23施設において年度当初に408事業を計画し、新規を含め414事業を企画した。うち23事業を中止して391事業を実施した。

主な事業

1 0・1・2シアター

乳幼児（主に0～2歳児）の子を持つ保護者の方が、子どもと一緒に音楽やお芝居などの生の舞台芸術に触れて楽しんでいただく公演を開催。

授乳室・おむつ替えベッド・ベビーカー置き場の設置や、チケットのウェブ予約・当日窓口精算（キャンセル可）などのサポートを実施した。

会場／文化小劇場14館 公演数／18公演

2 名古屋能楽堂定例公演

伝統芸能の普及を目的として、(公社)能楽協会名古屋支部との共催により、年間テーマ「鉄道で訪ねる 能・狂言ゆかりの地―鉄道開業150年に寄せて―」に沿った能楽公演を定期的に行った。

会場／名古屋能楽堂 公演数／6公演

3 劇場パートナーの運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営した。

中村文化小劇場	劇団 座・なかむら（演劇）
南文化小劇場	みなみシニア吹奏楽団（吹奏楽）
西文化小劇場	西文化小劇場オペラ合唱団（オペラ）
港文化小劇場	みんなとみなとコーラス（合唱）
天白文化小劇場	劇団 天白月夜（演劇）
名東文化小劇場	めいとうママ楽団オハナ（吹奏楽）、名東文化朗読舎（朗読）
守山文化小劇場	もりっこ彩合唱団（合唱）
北文化小劇場	The Polar Star Jazz Orchestra（音楽）
緑文化小劇場	劇団みどり（演劇）
千種文化小劇場	Chikusa Round Voices（ゴスペル）
中川文化小劇場	合唱団クローバー（合唱）
瑞穂文化小劇場	子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ（オペラ）
昭和 cultura 小劇場	子どもミュージカル劇場 show-Wa!（ミュージカル）、 名古屋昭和交響楽団（オーケストラ）
市民ギャラリー矢田	プラモデルさくせいラボ PLABO（プラモデル）

4 スマイルギフト

文化芸術の力を活用して地域の課題を解決することを目的として、ひとり親家庭など経済的支援を必要としている子どもたちを劇場に招待し、公演鑑賞の機会をプレゼントした。

会場／名古屋市芸術創造センター始め15施設

参加対象／ひとり親家庭の親子、支援施設の子どもたち

連携先／母子生活支援施設、児童養護施設、乳児院など

招待枚数／519枚

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成していません。